

# 松波小学校だより

第3号  
令和8年6月29日  
能登町立松波小学校

## 「積み重ねが力になる」

梅雨の晴れ間にのぞく青空に、夏の訪れを感じる頃となりました。新校舎建設工事が進む中、子どもたちは限られた環境の中でも工夫しながら学校生活を送り、毎日元気な声を響かせています。

4月の入学・進級から約3ヶ月が過ぎました。新しい学年や学級にもすっかり慣れ、それぞれが自分の役割を果たしながら学校生活を送っています。1年生も学校生活のリズムが身につき、上級生も下級生を気遣う姿が多く見られるようになりました。

先日の祖父母学級には、多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、おじいさん、おばあさんや保護者の方に頑張る姿を見てもらおうと、いつも以上に張り切って学習に取り組んでいました。少し緊張した表情を見せながらも、一生懸命に発表したり、友達と協力して活動したりする姿から、この3か月の成長を感じていただけたのではないのでしょうか。



また、祖父母学級終了後には、引き渡し訓練を実施しました。祖父母、保護者の皆様には、ご多用の中ご協力いただき、ありがとうございました。この訓練は、災害等の緊急時において、児童を安全かつ確実に保護者の皆様へ引き渡すための手順を確認することを目的として行ったものです。能登半島地震を経験した私たちにとって、「備え」は決して特別なものではありません。万が一の事態に備え、学校と家庭が連携しながら子どもたちの安全を守ることの大切さを改めて確認する機会となりました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

本校では今年度、「あたりまえをやりきる」を合言葉に教育活動を進めています。時間を守ること、進んであいさつをすること、話をしっかり聞くこと、履き物をそろえることなど、特別なことではなく、日々のあたりまえを大切にすることが成長の土台になると考えています。子どもたちの成長は、テストの点数や運動の記録だけでは測れません。友達を思いやる気持ちや、最後までやり抜こうとする姿勢、自分から進んで行動しようとする心など、日々の積み重ねの中で育まれる力こそが、将来につながる大切な力です。

1学期も残りわずかとなりました。子どもたち一人一人が自分の成長を実感し、自信をもって1学期のまとめに取り組めるよう、教職員一同支援してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

松波小学校 校長 宮本 秀人